



Challenge2025実現に向けた 構造改革

2020年10月29日

日野自動車株式会社

代表取締役社長 CEO

下 義生



Challenge 2025

「豊かで住みよい持続可能な社会」の実現に向け
複雑化しているお客様と社会の課題を、
「3つの方向性」の取り組みで複合的に解決

解決すべき課題

安全

重大交通事故

環境

CO₂問題

効率

お客様ビジネスの持続的成長
ドライバー不足等の物流危機

お客様・社会への価値提供

- ① 交通死亡事故ゼロ
- ② CO₂排出量の大幅削減
- ③ お客様ビジネスの発展支援
- ④ 人流・物流の更なる効率化



安全・環境技術を追求した
最適商品

安全・環境技術を
追求した最適商品



アップ
タイム
ライフサイクル
コスト
トータルサポート

最高にカスタマイズされた
トータルサポート



新たな領域への
チャレンジ

「もっと、はたらくトラック・バス」の3つの方向性



現在までの進捗

「3つの方向性」で、お客様と社会の課題解決を推進 より具体的な活動へと深化

20年3月

9月



安全・環境技術を
追求した最適商品

●FC大型トラック トヨタ協業



●BYD電動化協業契約

●ハイブリッド
連節バス1号車納車

●トヨタと北米で共同開発

●北米ProjectZ

●FC大型トラック共同実証

●BYDとEV開発合併会社

●Traton電動化協業契約

●大林組と自動運転実証



最高に
カスタマイズされた
トータルサポート

●パナマ新事務所

●首都圏
販社統合

●HINO CONNECT
バージョンアップ



●モビロツツ
「ICT予防整備サービス」
トライアル開始

●トラック専用ナビ
パッケージ商品発売



新たな領域への
チャレンジ

●NEXT Logistics
Japan (NLJ) 事業開始

●Hacobu
データ連携開始

●NLJパートナー企業
5→8社へ拡大

●Hacobu
コネクティッドトラック専用プラン開始

動態管理サービス
MOVO Fleet





**Challenge2025の取り組みを着実に進めてきたが、
コロナ禍で主要市場が低迷し販売台数・収益ともに大幅減**



**継続的にお客様と社会の課題を解決していくために、
Challenge2025の取り組みをさらに加速させ
変動に左右されにくい強固な事業構造を目指し
改革を行う**



考え方

2022年までに：15万台レベルでも安定的に収益確保

2025年に向けて：Challenge2025実現に向け取組み加速・深化

2025年以降に向けて：お客様「ごと」のビジネスにおける課題解決に向けた取組み

やりきるために

業務改革によるリソースの最適活用
構造改革50のプロジェクトへ投入

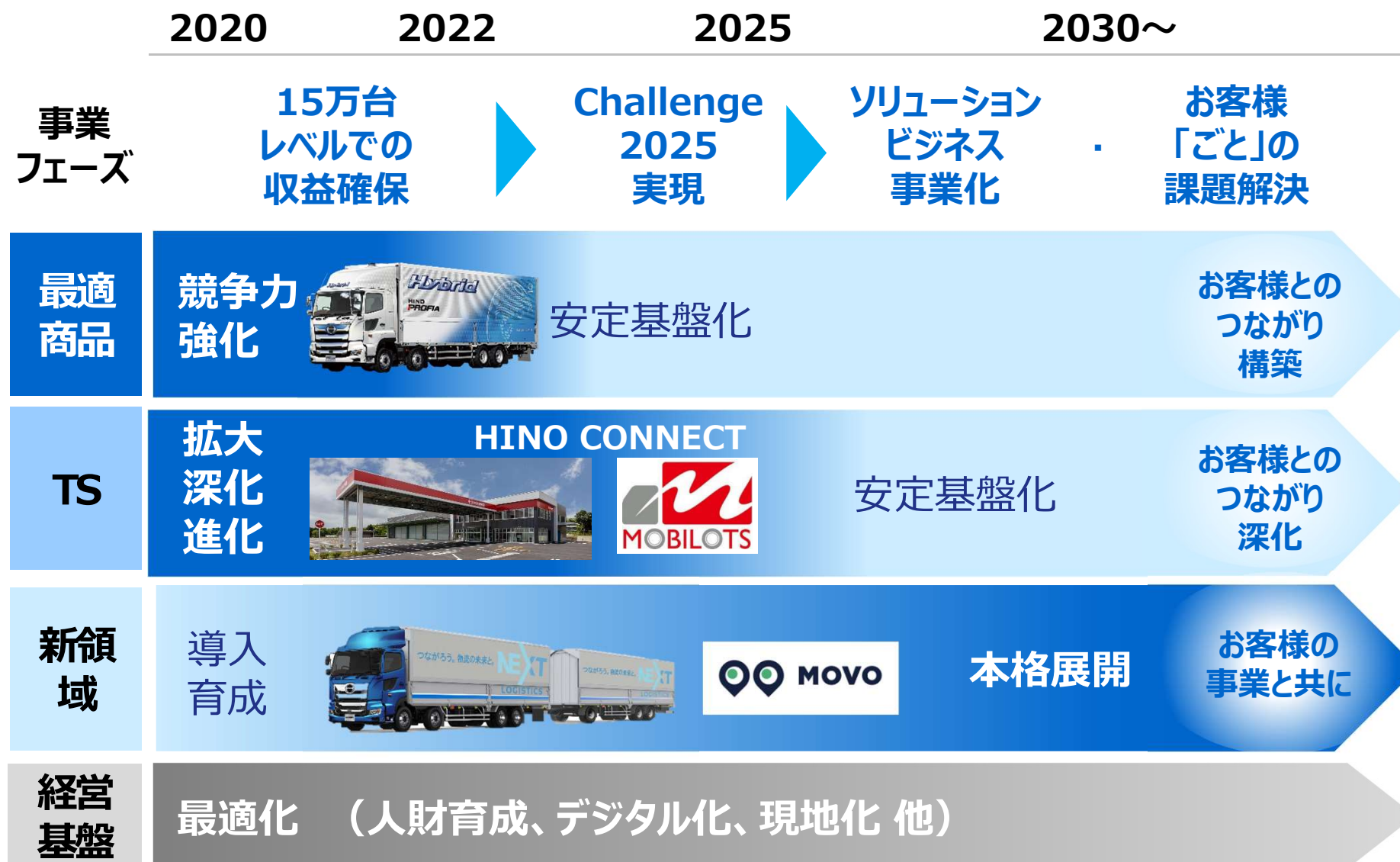
※20年度は間接部門人員の約3割シフト

開発・生産・販売、あらゆる領域において

〔自社での競争力にこだわる部分〕 〔パートナーと連携する部分〕
を見極め 〔選択と集中〕



ロードマップ°





50のプロジェクト

2022年までに

15万台レベルでも安定的に収益確保

- **固定費の最適化と徹底的な原価低減**
- **競争力を磨いた商品・TSの提供**
 - 独自商品である大型HVの拡販
- **整備在庫率50%実現に向けた取組み加速**
 - 専任組織の立ち上げ
- **お客様ニーズに対応する海外拠点の機能強化**



50のプロジェクト

2025年に向けて

「Challenge2025」実現に向けた取組みの加速・深化

最適商品

競争力 強化

- お客様目線による最適商品の提供
- パートナーとの協業を通じた地域毎での電動化促進

TS

拡大 深化 進化

- MOBILOTS活用によるお客様接点の拡大
- HINO CONNECTによる「ライフタイムコスト」のミニマイズ化
- ICTを活用したお客様稼働状況の把握

経営基盤

最適化

- 全社横断的なデジタル化の加速で基盤強化
- 開発・生産・販売・管理など各部一気通貫



50のプロジェクト

2025年以降に向けて

お客様「ごと」のビジネスにおける課題解決

TS

拡大
深化
進化

- お客様接点を生かし、車両ライフサイクルを通じた価値提供
- One to Oneでのサービス提供

新たな領域

導入
育成

ソリューション事業の具体化

- お客様の現場に密着しソフトとハード両輪での課題解決
- NEXT Logistics Japanでの幹線物流の仕組み確立

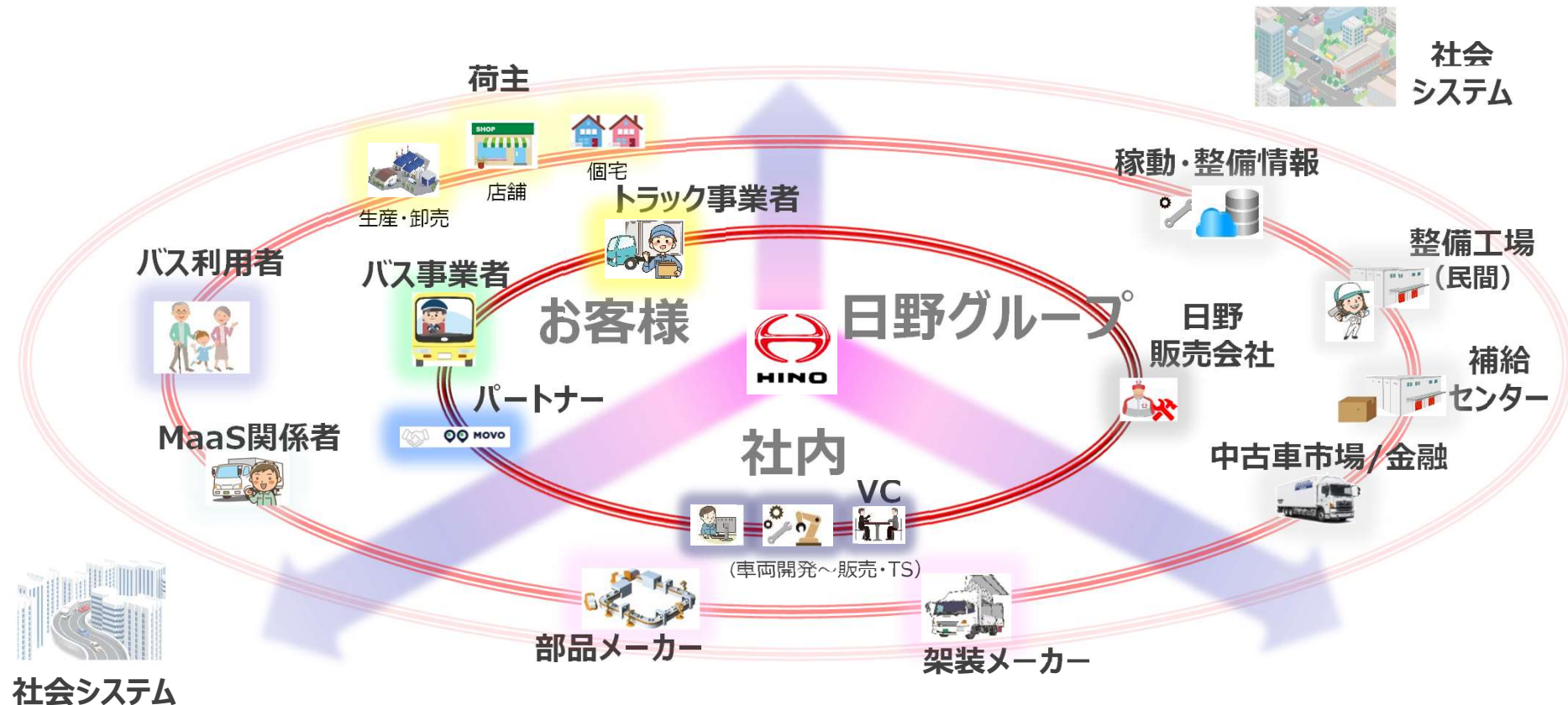
DXの加速

- 課題解決のためのデータプロバイダーとしてパートナーと連携



DXの加速：日野のデジタルビジョン

日野自動車はデータでお客様・社会と「つながり」ます
そして「双方向」かつ「リアルタイム」なコミュニケーションを行い
お客様に「寄り添い続けて」まいります





DXの加速：取り組み

自社でのソリューション開発

継続して推進、
取組みを「深化」

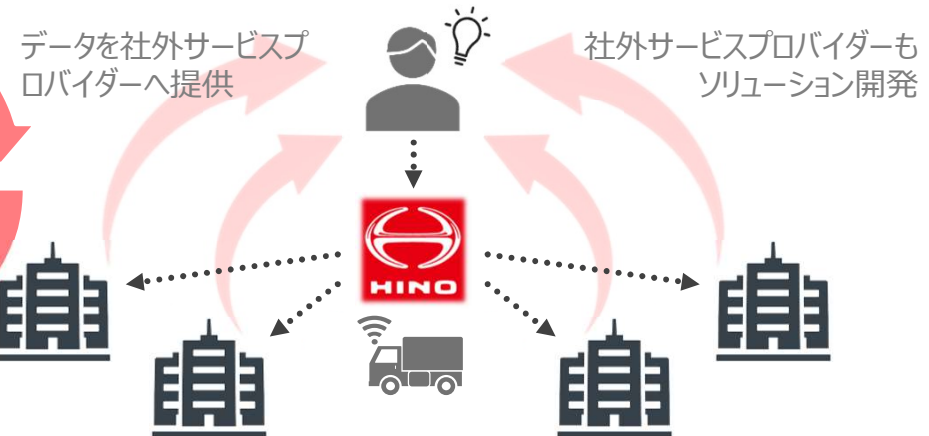
➡ ソリューション企業に
必要不可欠な
スキル・ノウハウを獲得

人財を育成し
真のソリューション企業へ

両輪で
取組み

データプロバイダーとして外部パートナーと連携

外部の知見を活用し、取組みを「加速」



➡ 短期間で多数のソリューションをお客様に提供
➡ パートナーから学び、日野の開発をレベルアップ

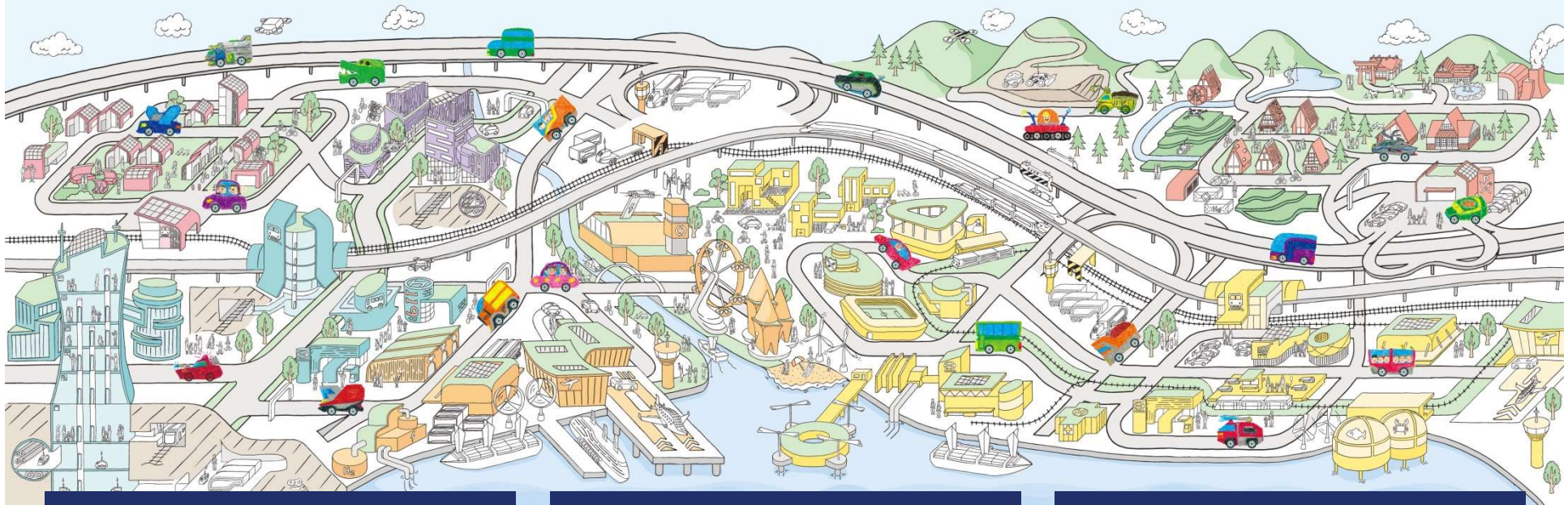
2020年3月 Hacobuと車両位置データ連携スタート
10月 MOVO Fleetでサービス提供開始





日野自動車の使命

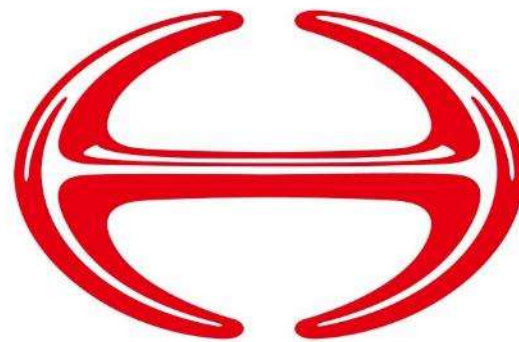
人、そして物の移動を支え、
豊かで住みよい世界と未来に貢献する



交通事故のない
安心・安全な社会

人、物の移動による
環境負荷の少ない社会

人、物が自由に
最適に移動できる社会



HINO